

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 6 部門第 3 区分

【発行日】 令和 4 年 6 月 10 日 (2022.6.10)

【国際公開番号】 WO2021/075091

【出願番号】 特願 2021-552098 (P2021-552098)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 3 0 / 0 2 (2 0 1 2 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 Q 3 0 / 0 2 4 5 0

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 3 月 31 日 (2022.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20

対象アプリケーションで利用される対象データについて、その対象データの希少度を取得する取得部と、

前記取得した希少度に基づいて、前記対象アプリケーションに前記対象データが利用されたことに対する対価である利用対価を算出する算出部と、を有し、

前記対象データは、前記対象アプリケーションが行う処理の一部を実現するサブプログラムであるか、又は前記サブプログラムの作成に利用されるデータである、対価算出装置。

【請求項 2】

前記サブプログラムは学習済みモデルであり、

前記サブプログラムの作成に利用されるデータは、モデルの学習に利用される学習データである、請求項 1 に記載の対価算出装置。

30

【請求項 3】

前記対象データの希少度は、そのデータの提供が困難であるほど高い値であり、その対象データが属するカテゴリに応じて定められる、請求項 1 又は 2 に記載の対価算出装置。

【請求項 4】

前記対象データの希少度は、そのデータの提供が困難であるほど高い値であり、その対象データの提供のリクエストが行われた時点からその対象データが提供された時点までの時間である提供準備時間の長さに応じて定められる、請求項 1 又は 2 に記載の対価算出装置。

【請求項 5】

前記対象データの希少度は、前記提供準備時間の長さ及びその対象データの提供のリクエストに対する評価の高さに応じて定められる、請求項 4 に記載の対価算出装置。

40

【請求項 6】

前記対象データは、前記対象アプリケーションによって利用されるモデルの学習に利用される学習データであり、

前記対象データの希少度は、そのデータの提供が困難であるほど高い値であり、前記対象データに含まれる学習データの量に応じて定められる、請求項 1 又は 2 に記載の対価算出装置。

【請求項 7】

前記対象データの希少度は、前記対象データに含まれる学習データの量の、前記モデルの学習に必要な学習データの量に対する比率に応じて定められる、請求項 6 に記載の対価算

50

出装置。

【請求項 8】

前記算出部は、前記対象データの希少度及び前記対象データが対象アプリケーションに利用された度合いに基づいて、その対象データの利用対価を算出する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の対価算出装置。

【請求項 9】

コンピュータによって実行される制御方法であって、

対象アプリケーションで利用される対象データについて、その対象データの希少度を取得する取得ステップと、

前記取得した希少度に基づいて、前記対象アプリケーションに前記対象データが利用されたことに対する対価である利用対価を算出する算出ステップと、を有し、

前記対象データは、前記対象アプリケーションが行う処理の一部を実現するサブプログラムであるか、又は前記サブプログラムの作成に利用されるデータである、制御方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の制御方法をコンピュータに実行させるプログラム。

10

20

30

40

50